

■**玉木愛子** 俳人。幼時にハンセン病、自ら病院に入って俳句を知り、脚の切断、失明を越えて創作、淡々と綴る自伝を遺す。
たまきあいこ
国民之友始・1887＝ 大阪島の内で、富裕な材木問屋の長女に生まれる。
父は、絶えず各地の山林を見回りに出ていて留守がちで、京都で典医だった母方の祖父が、維新後大阪に出て米屋を手広く商い、常時相撲取りが出入りするような生活のなか、その後、6人の弟妹が誕生。

帝国憲法発布1889＝ 2歳： 伯母の家は工業家で、大勢の職工が働き、そこに遊びに出かけるといつも、ある職工に愛撫されたが、後、その人が癩(ハンセン病)であることが判明。

大津事件・・1891＝ 4歳： 2つ下の妹といっしょに麻疹に罹った時に、従兄弟が夭折、葬儀のため、伯母の家に出かけて戻ってくると、異常な事態となり、一命はとりとめたものの、肺炎になり、百日咳、さらには頭髮まで抜ける。

大本教・・・1892＝ 5歳： 山村流の舞踊を習い始める。
左ひざに一銭銅貨大の水泡ができ、ドイツ帰りの医者診察で、癩であると知らされ、家族や親戚は衝撃を受けたが、本人には知らされず、水泡が治ってしまえば、普通の子となんら変わりなく、

日清戦争始・1894＝ 7歳：
日清戦争終・1895＝ 8歳： 小学校に入学。当時の治療はせいぜい"太風子丸"を服用することだったが、異様な臭気がした上、に服用後は気分がすぐれず嘔吐に悩まされる。

白馬会・・・1896＝ **9歳**：
八幡製鉄始・1897＝10歳： この頃から、琴、三味線も習う。
家業の都合で島の内から四ツ橋近くに転居し、育英高等小学校に転校。通学と習い事は一日も休まず、大阪府立病院に週に一度通う。

子規句歌革新1898＝11歳： 家業が発展して、堺に転居し、学校も転校するが、先生たちに非常に可愛がられる。
Bushidou・・1899＝12歳： 高等女学校へ入学するが、癩の症状が強く出て来て、身体検査で指摘され、母の意向で退学。人目をさけて自宅での療養生活に入る。家で母から裁縫を習い、外出は琴の習い事のほかは府立病院へ週一度の通院。

田中正造直訴1901＝14歳： 母から癩であることを知らされ、離れ座敷で生活始めるが、親戚や家族の交わりは以前と変わらず。
日露戦争始・1904＝17歳： 遠江の山林が山火事で莫大な損害を出したことを引き金に、父が衰弱し、死去。家の事情が一変。使用人に暇を出し、小さな借家に移り住む。不自由な体のために母親の役に立たない自分を惨めに感じた。
日露戦争終・1905＝**18歳**： 家業は、わずか一年半余りで父在世中よりも張り合いのある店に復興し、家族の絆も強まる。
慰めにと母がオルガンを購入してくれ、夢中で独学したが、5年ほどでペダルも踏めない状態となる。

明治天皇没・1912＝25歳：
第一次大戦始1914＝**27歳**：

ベルサイユ条約・1919＝32歳： 妹、弟たちの結婚の支障になるのを恐れるなか、母が心中まで考えてくれたことに、熊本のハンナ・リデルが創立した私立癩病院の回春病院に思い至って、
*自分で手紙を出して入所を申し出、家族と終の別れをして、母とともに熊本に到着、思いやりをもって迎えられ、なんの気兼ねもなく人間らしいゆとりある生活が蘇る一方、家庭の慈愛から離れて孤独になる不安が心を襲うが、共同生活で、それぞれ境遇の異なった苦勞を背に負って入室している人々のことを知り、
受洗し、キリスト教になる。

原敬首相暗殺1921＝34歳：
関東大震災・1923＝**36歳**：
護憲三派圧勝1924＝37歳： この頃、福岡市の生の松原で療養している西村瞳女を知り、文通を通じて俳句に興味を持つ。

世界恐慌・・1929＝42歳： 病状が悪化し、熊本大学外科部長により、右足を切断。

満州事変・・1931＝44歳：
五一五事件・1932＝**45歳**：
国際連盟脱退1933＝46歳： 種々の理由により、熊本を去り、長島愛生園に移る。

芥川直木賞始1935＝48歳： 僚友柴水と結婚。

日中戦争始・1937＝50歳： *失明。回春病院に入院していた瞳女の影響もあり、俳句にかけるようになる。
婦長なども加わって、婦人句会{かりん句会}も誕生。

日米開戦・・1941＝**54歳**：

敗戦・・・1945＝59歳：

極東裁判決・1948＝61歳： *戦争により中断していた{ホトトギス}への投句を再開して、注目を浴び、高浜虚子の知遇を得る。

朝鮮戦争始・1950＝**63歳**：
独立回復・・1951＝64歳：

55年体制始・1955＝68歳： *自伝「この命ある限り」を出版。
自伝には、発病前の裕福な生活、発病、自宅療養、家族生活とその苦悩、リデル女史への手紙や入所の経緯、三宅俊輔医師のこと、病気の進行と療養生活、キリスト教への信仰、ライト女史のこと、光田健輔園長のこと、戦争時の苦勞、戦後のプロミン導入、らい予防法反対運動など、入所者の目からたんたんと描いている。所どころに俳句を添えている。

美智子妃・・1959＝**72歳**：
安保闘争・・1960＝73歳：

霞ヶ関ビル・1968＝**81歳**：
全共闘・・・1969＝82歳： 没した。